

100年
カンパニー
の知恵。

NTN (大阪市)

since 1918

上

ベアリング独自開発

世界有数のベアリング(軸受け)メーカーNTN。創業者の一人、西園二郎が1918年に三重・桑名で鉄工所を設立し、来年で100年を迎える。ベアリングは、ピラミッド建設で巨石を運ぶために敷いた丸太が原点とされる。機械の滑らかな回転には不可欠で、特に19世紀以降、鉄道や自動車、飛行機などの交通革命に伴い急速に発展してきた。

創業当時は第一次世界大戦中で、スウェーデン製の高価なベアリングが世界を席巻。日本国内は急速に重工業化が進んだ時期でもあり、ベアリングの国産化が課題となっていた。

転機が訪れたのは22年。スウェーデン船が国内で海難事故に遭い、積み荷のベアリングが海水をかぶり使い物にならなくなったという。そして、それを全て買

滑らかな
社会の実現に
向けて

い取ったのが、大阪の機械工具商「巴商会」の丹羽昇。24歳だった丹羽は、ベアリングの将来性にいち早く着目していた。

丹羽は買い取ったベアリングの再生を、取引があった西園に依頼した。独自にベアリングを研究中だった西園は再生に成功。年も近かった2人は、販売で得た利益で新たに研磨機3台を購入し、本格的なベアリング製造に乗り出した。

翌年、丹羽のN、巴商会のT、西園のNの頭文字からの「NTN」の商標で国産ベアリングを発売。4年後に正式に会社化した。30年には商工省の選定優良国産品として推奨され、鉄道省指定工場に。その後、自動車や家電のメーカーにも次々に採用された。

34年には、当時の日本の技術では不可能とされていた超高速ベアリングの開発に成功。それにより、37年に日本初の純国産飛行機が東京―ロンドン間を94時間17分56秒で結び、世界記録を樹立。会社はさらに勢いづいた。【大道寺峰子】



1934年ごろ、大阪市北区堂島にあった当時の本社前で=NTN提供